

# 地球温暖化防止に貢献する国産材の利用

我が国の国際公約（気候変動枠組条約「京都議定書」）

CO<sub>2</sub>排出量を6%削減

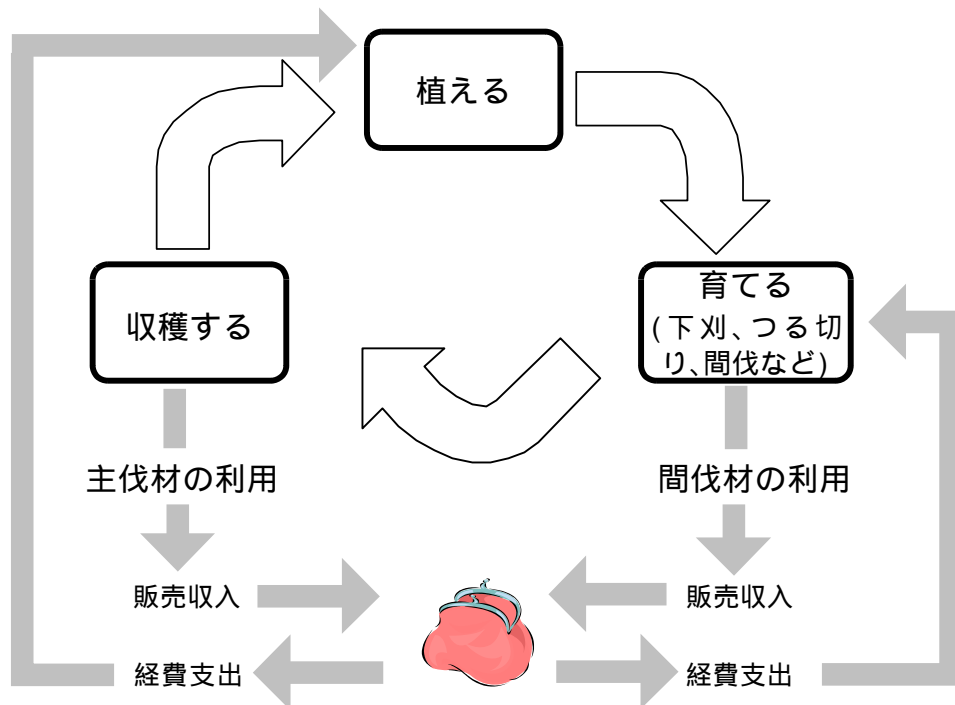
うち2/3に当たる3.9%は、国内の森林の吸収量でカウントする

達成するには？

植える、育てるといった手入れを行う  
森林の面積を増やすことが必要

手入れには資金が必要！

主伐材や間伐材が売れば、林業者の収入が確保され、  
植える、育てる、収穫するのサイクルがうまく循環



柱や板などの主産物に加え、端材やおが屑等からの副産物の利用が活発化すれば、販売収入はもっと増える

さらに、木材の利用は、

- ・“伐ったら植える”を繰り返せば、何度でも再生産可能
- ・鋼材、アルミニウムなどの他資材に比べ、加工に要するエネルギーが少ない
- ・住宅や家具などに利用・再利用することにより、炭素を長期間にわたって貯蔵する
- ・最終的に燃やしても、もともと大気中にあったCO<sub>2</sub>を放出するものだから、温暖化とは無関係。エネルギーとして利用すれば、化石燃料の消費も抑制といったメリットもある。

だから… 国産材を積極的に利用することが重要